



アサヒ繊維工業株式会社を題材とした 広報課題研究制作企業PRムービー『アサヒゼミ』

D20012内田遼起
D20052菅原誠也
D20117和田健太郎

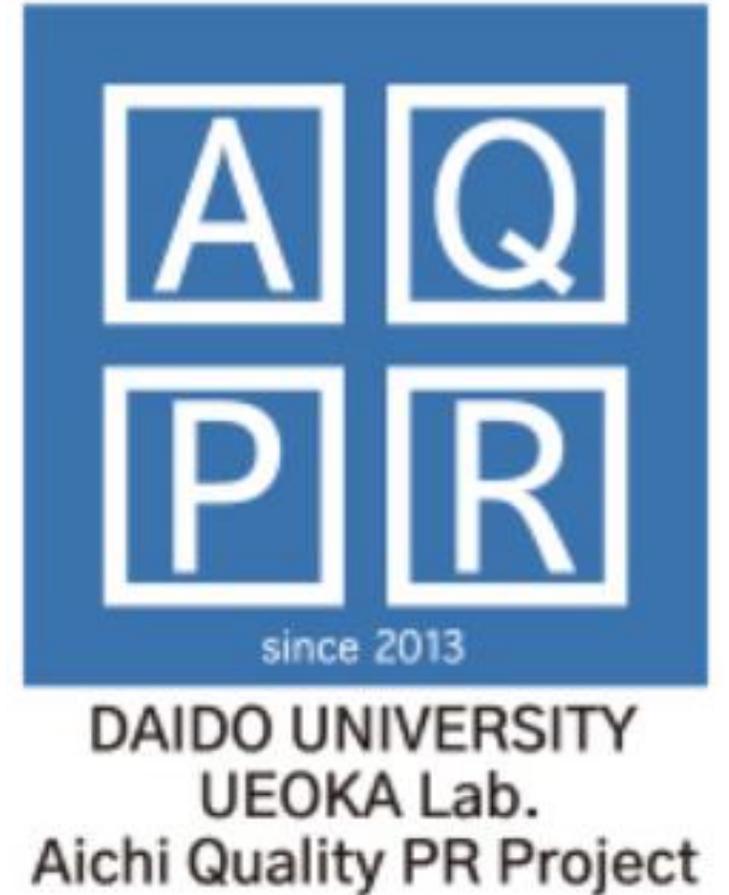
目次

P3AQPRについて
P4愛知ブランド企業について
P5選定企業:アサヒ繊維工業株式会社について
P6研究制作過程
P7企業の課題
P8~9企画プレゼン
P10~13実験案
P14~19アンケート
P20~27効果検証
P28~30研究を終えて

AQPRについて

このプロジェクトは、
「クリエイティブで地域の課題と向き合う」
を研究テーマに掲げている上岡研究室が、
愛知県産業振興課より AQPR 対象希望として
照会された「**愛知ブランド企業**」の中から
研究生自身が選定して、
企業の様々な広報課題を研究し、
解決策を制作するものであり、
又成果物については実際の企業活動に提供している。

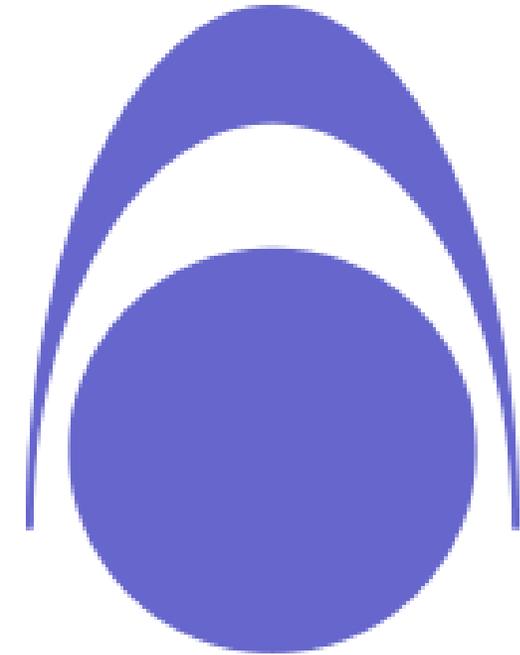
今年度は、県からの照会企業は12社であった。
その中から私たちは1社を選定した。
* 選定企業、理由は後述



愛知ブランド企業について

愛知ブランド企業

ものづくり王国と言われる愛知県では、ものづくり王国と言われる愛知県では、県内製造業の実力を広く国内外にアピールし、愛知のものをづくりを世界的ブランドへと展開するため、県内の優れたものづくり企業を「愛知ブランド企業」として認定しております。（愛知ブランドwebサイトより抜粋）



**Aichi
Quality**

選定企業：アサヒ繊維工業株式会社について

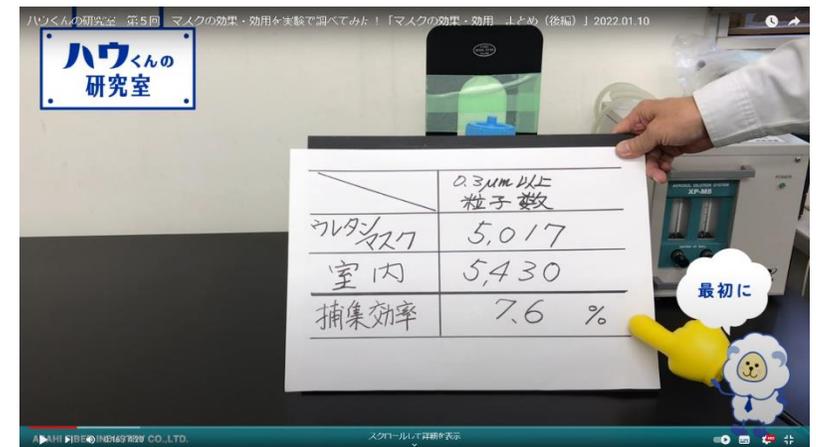
設立 昭和24年12月 アサヒ繊維株式会社を設立

アサヒ繊維工業株式会社は繊維製特殊加工品の企画開発メーカーで、浄水器フィルター等の各種フィルター、エレメント及び、マーカーの中綿・芳香剤や消臭剤の吸い上げ芯、メディカル用部品、マーカーのペン先等を自社開発の生産設備で製品開発している企業である。

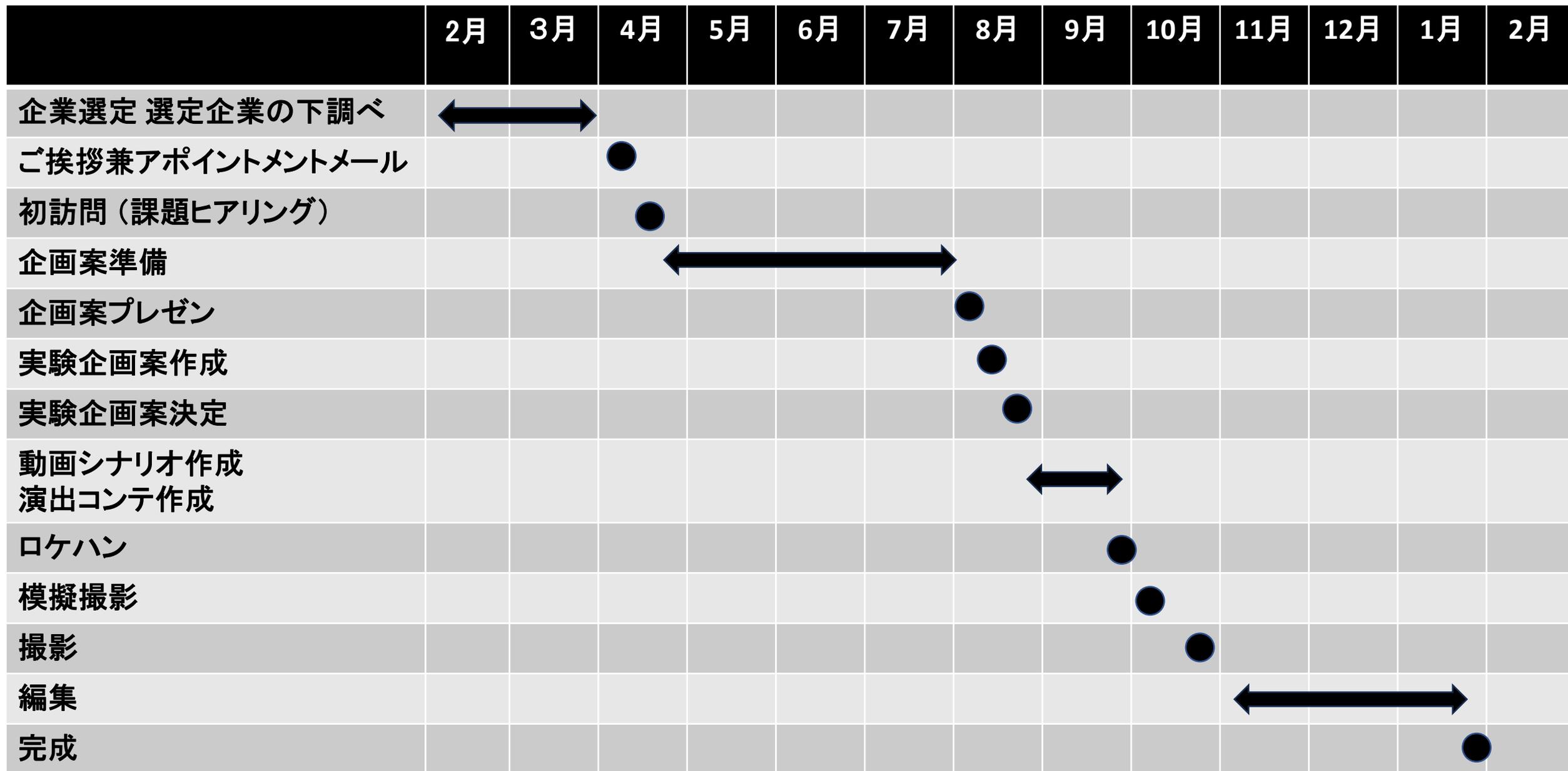


選定理由

- ・リクルートでなく、**企業紹介の動画を制作できる**ことに魅力を感じた。
- ・アサヒ繊維工業の**動画の内容が面白い**と感じた



研究制作過程



企画案プレゼン(A~C案)

A案: Try New Things!

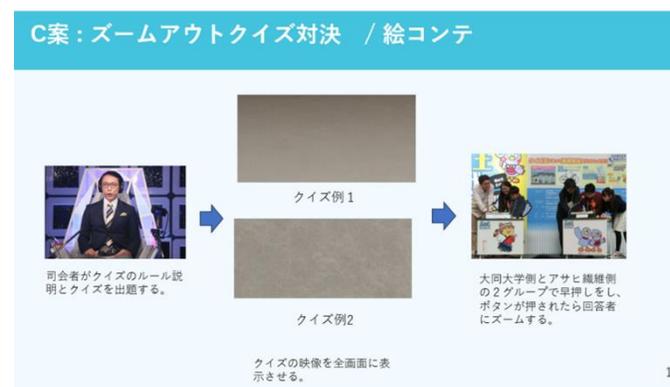
アサヒ繊維の製品を作っているところを撮影し、15~30秒くらいの短い尺の動画をたくさん作り、アサヒ繊維の商品の多種多様さを伝える企画。

B案: ハウズラボ How's LABO

アサヒ繊維工業の商品の特徴を活かした実験を行い、アサヒ繊維工業の製品の良さを伝える企画。導入編と実験編を何本かを作成。

C案: ズームアウトクイズ対決

アサヒ繊維工業の方と 大同大学生の3人vs3人のクイズ対決を行い、正当数の数で対決する。1問につき1本の動画を作成。

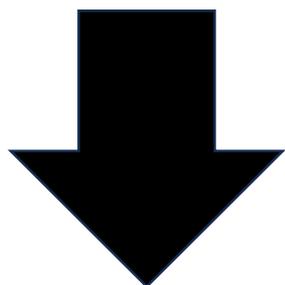


企画案プレゼン(A~C案)



B案: ハウズラボ How's LABO

アサヒ繊維の商品の特徴を活かした実験を行い、アサヒ繊維の製品の良さを伝える企画。導入編と実験編を何本かを作成。



動画に必要な実験案を考える必要がある。

絵コンテ



博士から助手に実験を頼む



助手が円周率を書き始める



助手が嫌になってやめる



教授がもう一度実験するように頼む



助手がもう一度円周率を書き始める



助手が嫌になりもう一度やめる



実験を中断する

実験前	状態	実験後
12g	紙製	9.2g
5.5g	中の繊維	5.5g
6.5g	結果	3.8g

だいたいの推移をみて
まだまだ書けるアサヒ繊維の
使われたペンはすごい

実験案

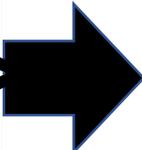
- ①「ストレス解消用の筒が欲しい！」 防音フィルター
- ②「インクの吸収量の実験」 ペンの中綿
- ③「インクをどれくらい消せるのかの実験」 セルイレーザー
- ④「水の漏れの実験」 止血体
- ⑤「ろ材ってなんだ？効果があるのか」 ろ材
- ⑥「スライバーとファイバーロッドの違いを見てみよう」スライバー

実験案

- ①「ストレス解消用の筒が欲しい！」 防音フィルター
- ②「インクの吸収量の実験」 ペンの中綿
- ③「インクをどれくらい消せるのかの実験」 セルイレーザー
- ④「水の漏れの実験」 止血体
- ~~⑤「ろ材ってなんだ？効果があるのか」ろ材~~
- ~~⑥「スライバ とファイバ ロッドの違いを見よう」スライバ~~

動画概要

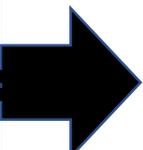
①「ストレス解消用の筒が欲しい！」 防音フィルター  叫び筒編

②「インクの吸収量の実験」 ペンの中綿   ペン編

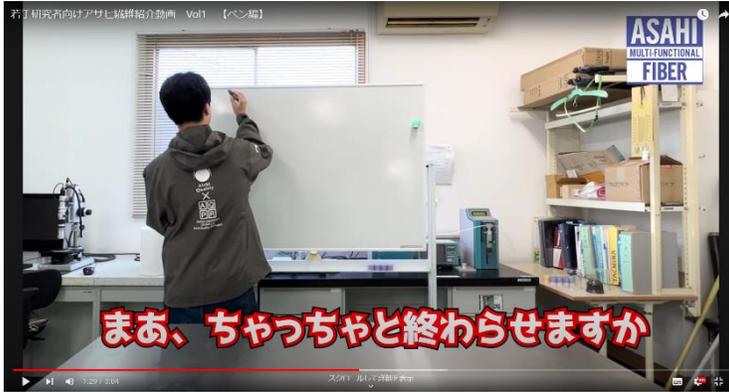
③「インクをどれくらい消せるのかの実験」 セルイレーザー

④「水の漏れの実験」 止血体  止血体編

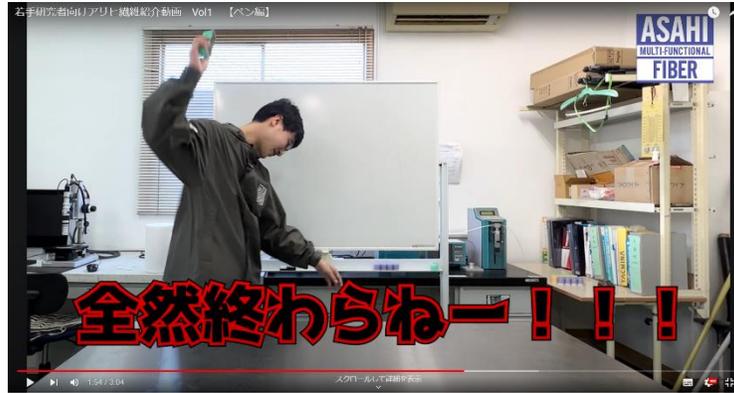
~~⑤「ろ材ってなんだ？効果があるのか」ろ材~~

~~⑥「スライバ とファイバ ロッドの違いを見よう」スライバ~~   あまり馴染みが無かったため不採用となった。

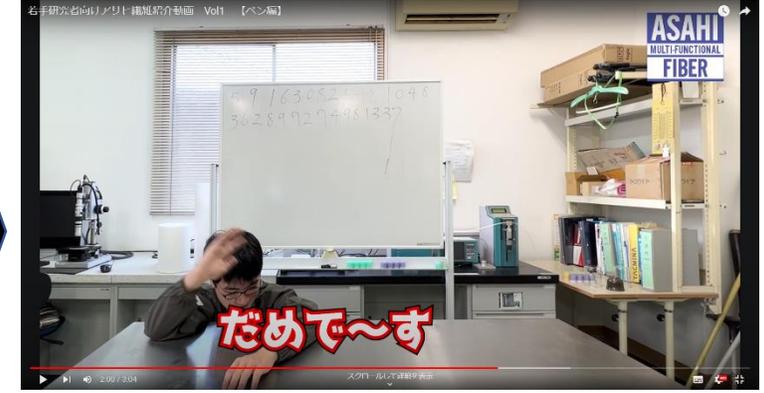
①ペン編



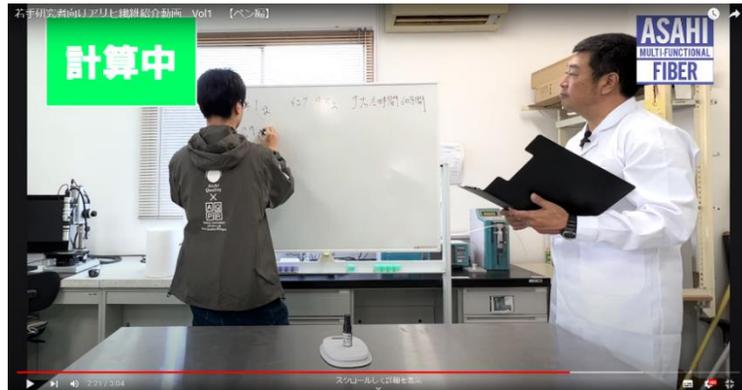
博士から大変な実験を指示され助手が渋々やる



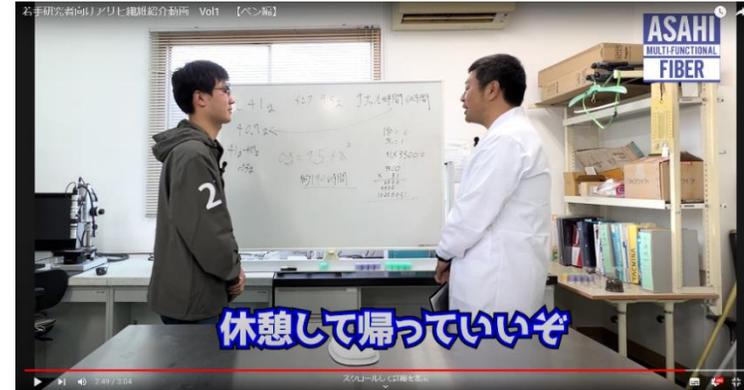
しばらくやり続けるが全然終わらず嫌になる。



博士が帰ってきて、実験の進捗を聞くが全然進んでいない。



今の状態と使っていないものを比較し、結果を推測する。



結果が出て、実験は終了したが助手は疲れ果てる。

ポイント:ペンやセルイレーザーの性能

①ペン編



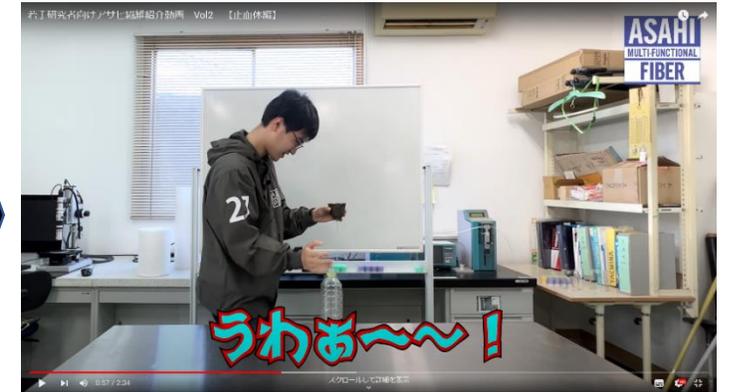
②止血体編



ペンの実験を終え、疲れ果てている助手が休憩しようとする。



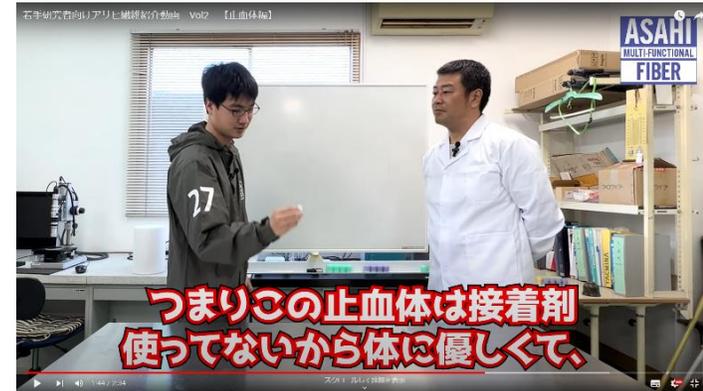
お茶を飲むためにコップを用意するが、誤ってピタゴラスカップを使おうとする。



お茶を注ぐと、下から漏れる。



博士が持ってた止血体で水を止める。



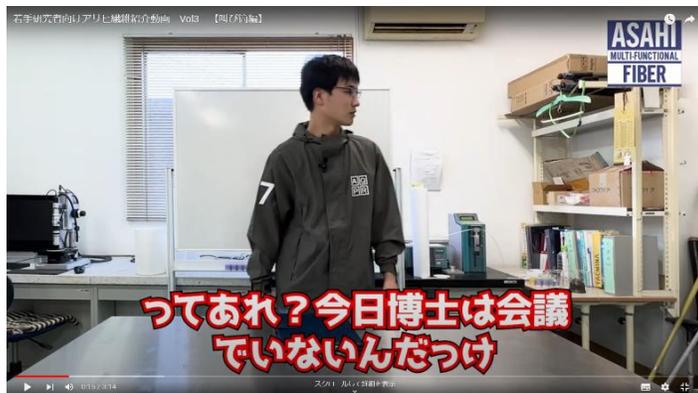
その結果、大惨事にならず済み、止血体のすごさを知る。

ポイント: 止血体の吸水性

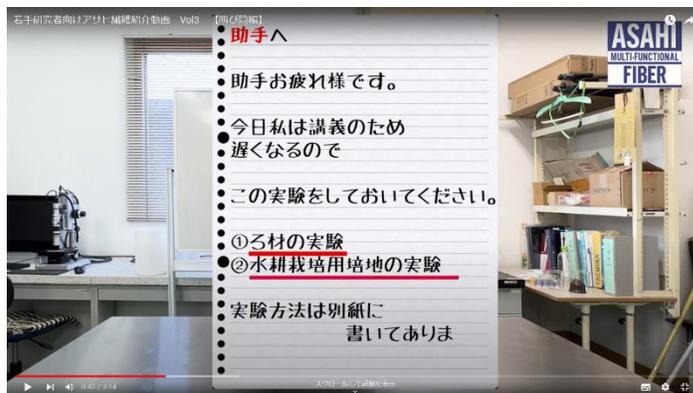
②止血体編



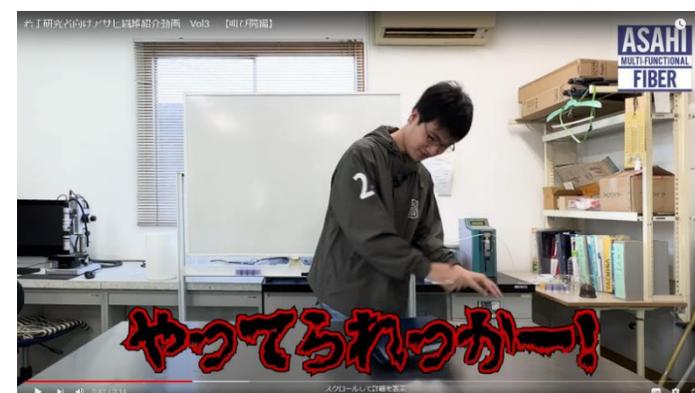
③叫び筒編



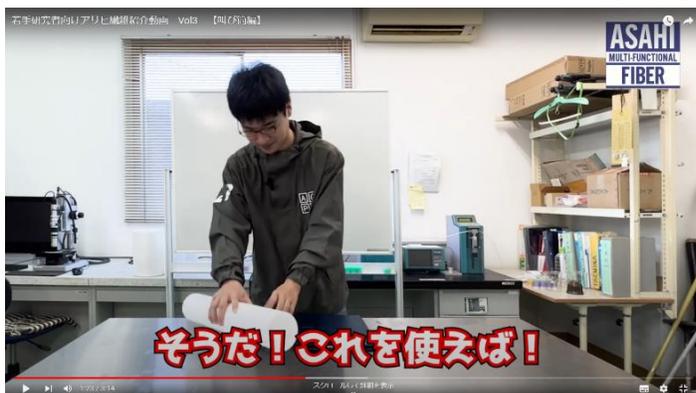
助手がゼミに来るが博士がいない。



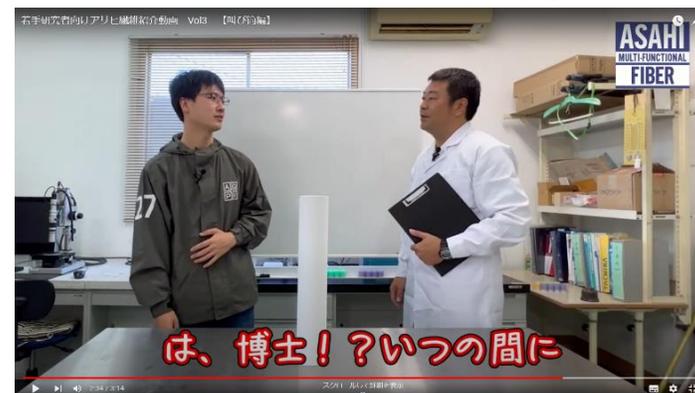
机に資料があり、今日やる実験が書いてある。



やっつけられるかと叫ぶが、周りに聞こえてしまう。



周りに聞こえないよう近にあった防音フィルターを見つけ、叫び筒を作る。



叫び筒を作り、鬱憤を晴らすが、固定が甘く、途中から漏れており、博士にすべて聞かれ怒られる。

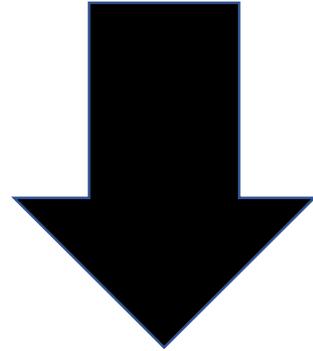
ポイント：防音性能

③叫び筒編



効果検証

若手研究者に効果的かどうかを検証するため



- ①アンケート
- ②企業へのヒアリング
- ③総括

①アンケート(Google Forms)

アサヒ繊維工業の社員 7名

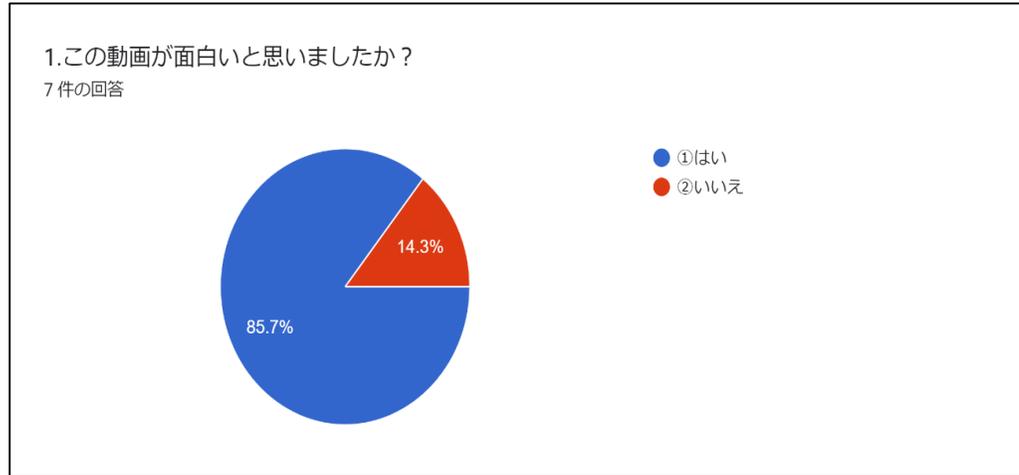
大同大学生 5名

他大学の理学生4年生 2名

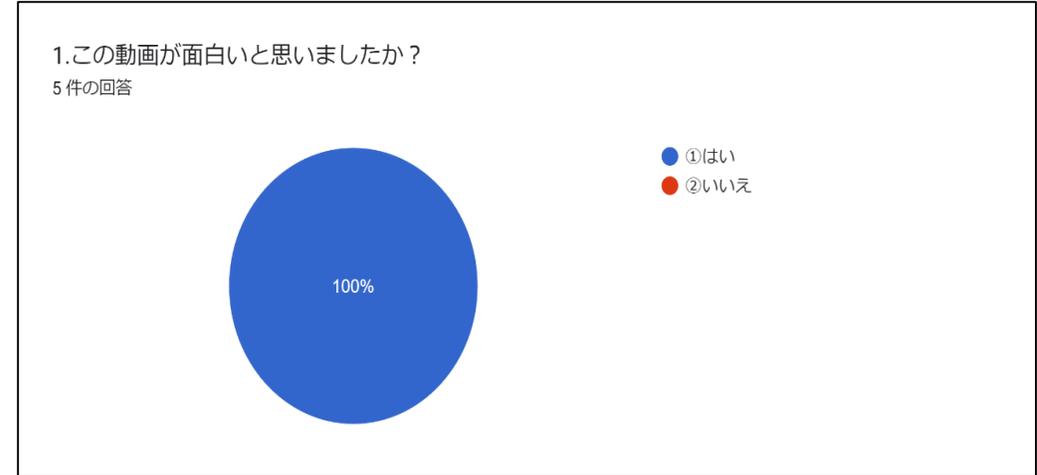
計14名 からアンケートを取った。
結果は以下の通りだった。

①アンケート＜ペン編＞

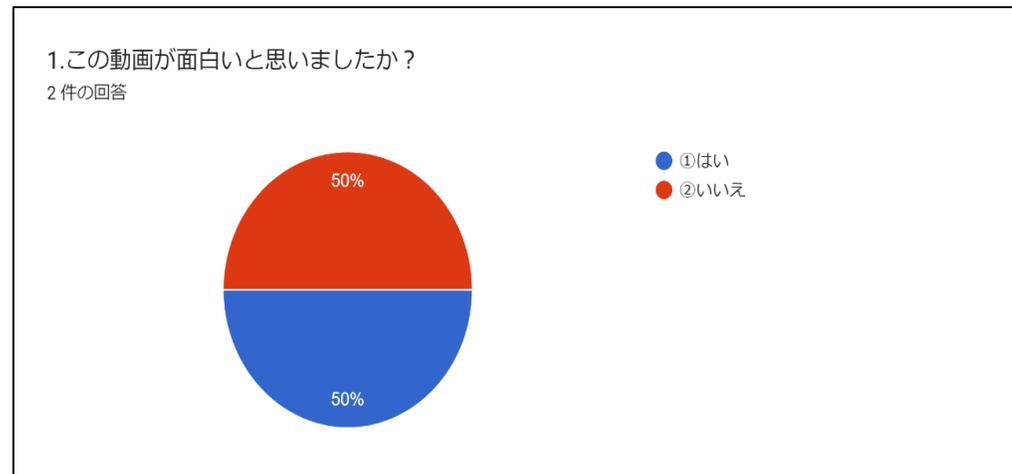
アサヒ繊維社員の方



大同大学生

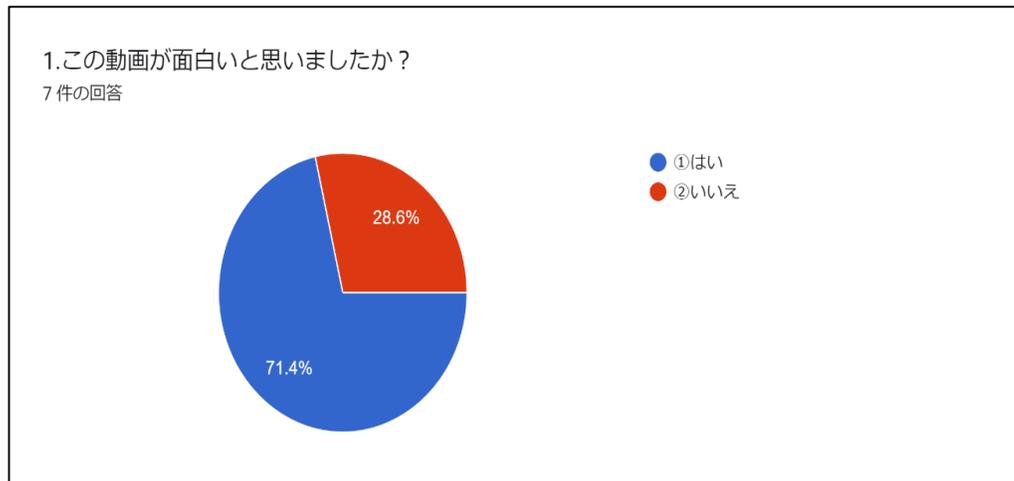


他大学の方

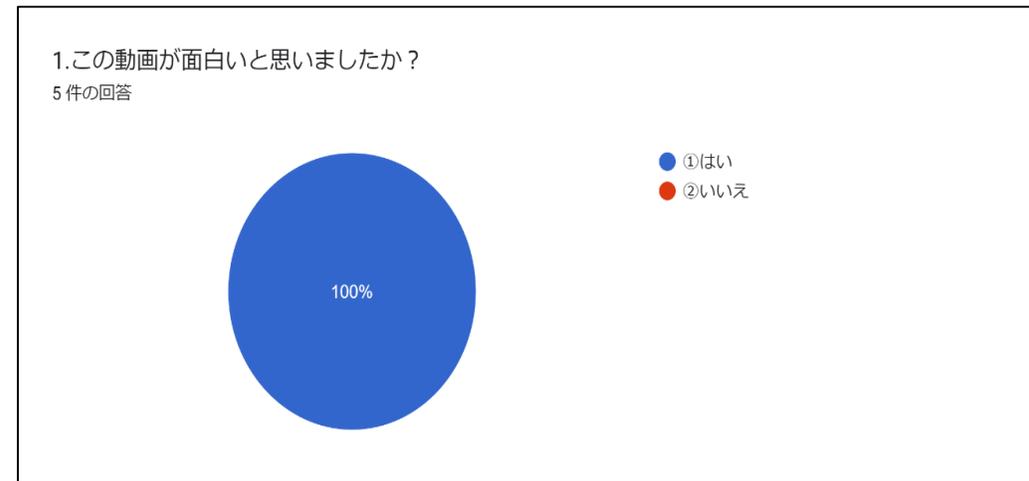


①アンケート<止血体編>

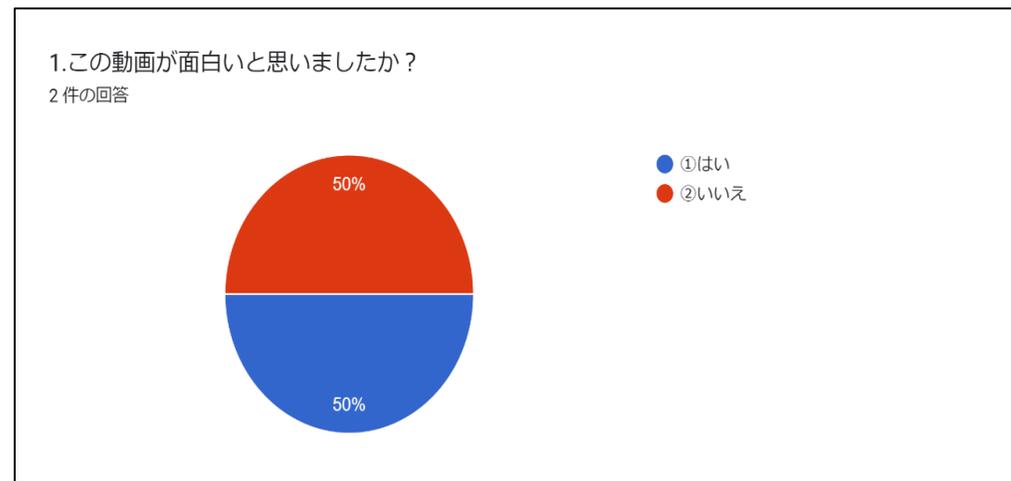
アサヒ繊維社員の方



大同大学生

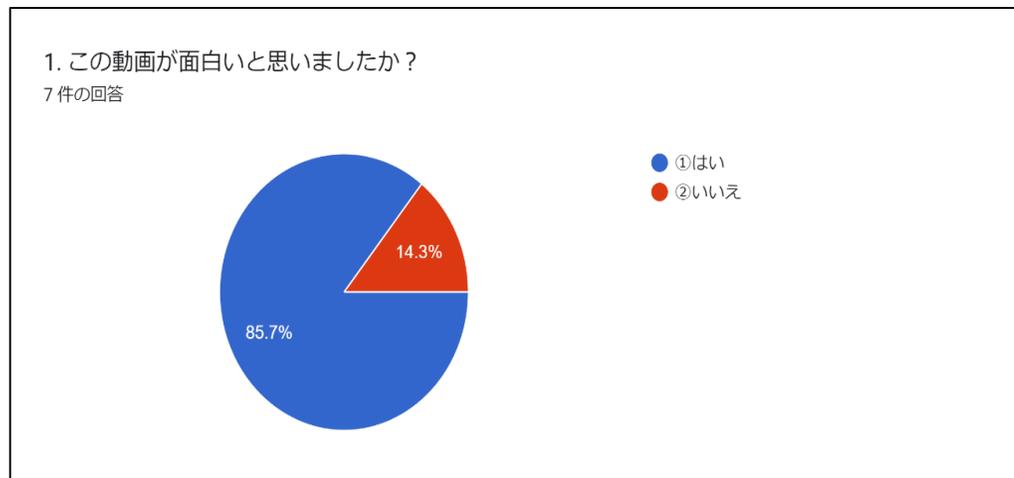


他大学の方

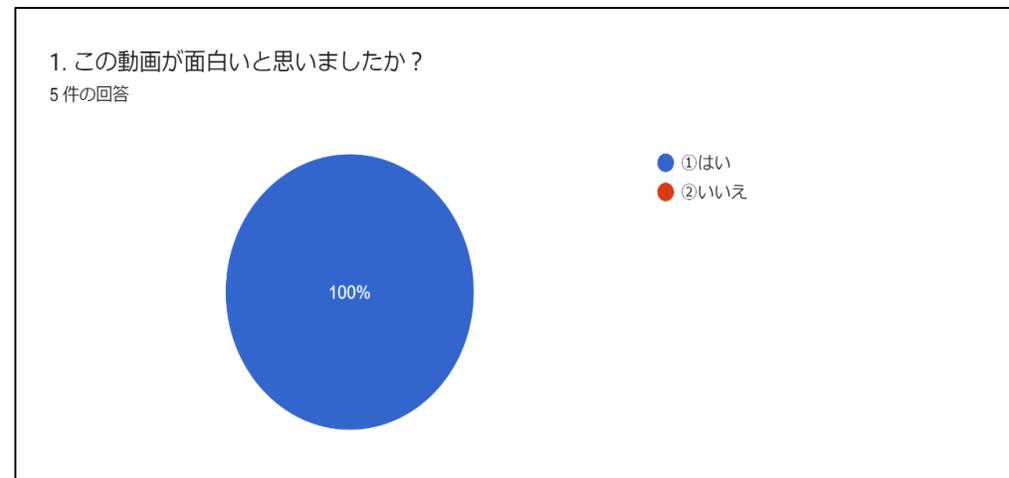


①アンケート＜叫び筒編＞

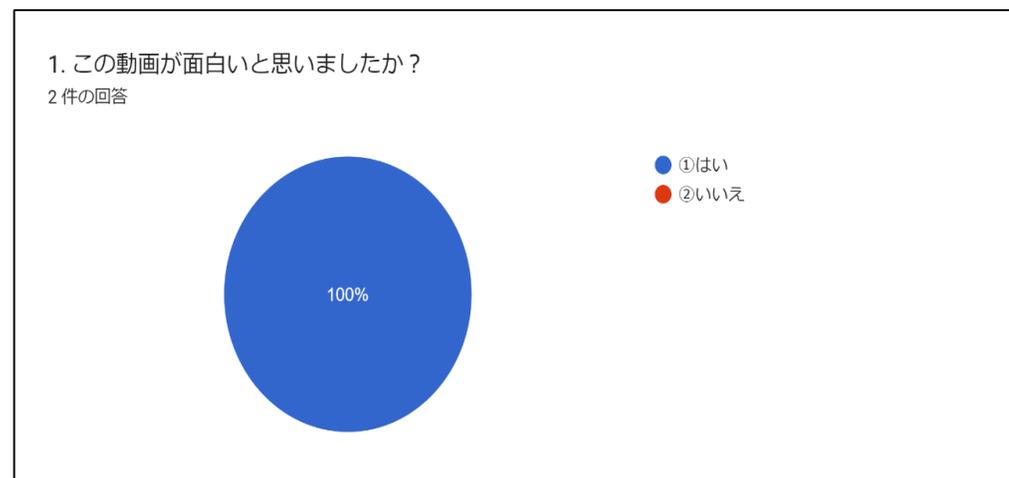
アサヒ繊維社員の方



大同大学生



他大学の方



②ヒアリング

	浅井様 (社長)	渡辺様 (博士役)	浅野様 (ご担当者)
課題点の解決目標の5段階評価	5	5	4
新規性	5	5	5
有効性	5	5	4
伝達性	4	5	3
今後の期待度	4	5	4

②ヒアリング(コメント)

浅井様(アサヒ繊維工業社長)

私たちとは違う学生目線で動画を作っていたいただき、若手研究者の興味が惹かれる動画になったと思います。字幕や、演出、効果音などがよく動画がみやすいと思った。欲を言えばもっと他のバージョンも見てみたいという風に感じました。

渡辺様(博士役)

私も社長と同じく、私たちとは違う目線で作っていただき本当に感謝しかありません。この動画の再生数が楽しみです。ただ、事前にストーリー説明があるとより役に入ることができたかなと思っています。

浅野様(ご担当者)

3本も作っていただきありがとうございます。ペン編と叫び筒編はどういったものでどういう機能かがわかりやすいと感じました。しかし、止血体編は機能が分かりづらいから詳しい説明みたいなのがあるとより良いと感じた。また、最後に会社のアピール動画のようなものがあるととってもいいと思いました。

③効果検証の総括

「叫び筒編」は全体的に**評価が良い結果**であった。

しかし、他の「ペン編」、「止血体編」に関してはアサヒ繊維工業や理系大学生には「叫び筒編」程良い評価ではなかった。理由を見てみると、企業へのヒアリングした際のアドバイスと同じく、

詳しい説明が欲しいという意見があった。

それに付随し、ストーリーがつまらないという評価をしているのではないかと考える。そのため、もっとわかりやすいテロップでの**説明**などがあるとよりよいのではないかと考える。

また、アサヒ繊維工業向けの結果では、おおむね好評価をいただいた。そのため、動画全体としては、会社の興味を惹き、

会社のことを理解できるような動画になったと考える。

研究を終えて

内田遼起

今回の研究を通して、複数の物に対してのPRについて難しさを初めて痛感致しました。今までの制作物に関しては制作物はある程度決まっていた為、「ここを目指してどうしよう」と考えることが多かったのですが、この研究では制作するものについて全く視覚化しづらい部分が多くとても難しく感じました。具体的には紹介するものをわかりやすく見る人に対して説明するかや、この動画で本当に製品の魅力を伝えることができるのかその部分を考えた際につまずいてしまったことがあった。それでもチームで諦めずに新しい案を出し合うことができました。新しく物を創作する難しさ、チームで作るチームワーク、とても良い経験が積むことができたと感じます。私は、この研究で失敗、成功を学んで就職後にも活かしていきたいと感じました。

研究を終えて

菅原誠也

今回の研究で、アサヒ繊維工業様には本当にたくさん協力していただき、無理な相談にも快く協力していただいて本当にありがとうございましたと感じました。そんな研究の中で、特に人にモノを伝えることの難しさを様々な部分で痛感しました。具体的には、自分の動画のアイデアを教授に伝えるときや、企業にプレゼンするときのプレゼン資料の作り方、わかりやすくかつ面白く伝えることができる動画シナリオを考えると、動画の編集時などとても多くの部分で難しいと感じました。しかし、今回の研究で様々な場合の伝え方を学ぶことができました。また、卒業研究のアンケート結果のように見る人の特徴によって、動画の見方の違いや感じ方、動画に欲しいものが変わることを学ぶことができました。この経験を今後社会人になっても大切にし、より人にわかりやすく伝えることができるようになっていきたいと感じました。

研究を終えて

和田健太郎

今回の研究を通して、改めて作品を制作する難しさを痛感しました。私は趣味として好き勝手に作品を制作することはあったが、誰かの為に依頼されて制作する経験はほとんど持っていなかった。もちろん、制作を円滑に進めるためにあらかじめ資料を収集したり、修正することを見越してレイヤーを細かく分けて制作するなど、自分で考えられる範囲内の工夫は考えた。しかし修正が重なるにつれ、レイヤーが多くなりどのレイヤーが何を描いているのか分からなくなるなど、制作が進行しづらくなってしまった。これは私の今後の反省点だと考えている。私はイラストレーターを目指して勉強しているが、この経験を活かしたいと考えている。

ご清聴ありがとうございました。